



PHスタジオが長年取り組んできたアートプロジェクトのドキュメント映画「船、山にのぼる」(監督・本田孝義)のもうひとりの主人公、灰塚の人々(灰塚神楽団)をお招きした『神楽とトークと映画の会』を開催します。

映画上映の方は6月に札幌、7月からは再び東京uplink、名古屋でも予定しておりますが、今回のようなイベントはまたとない機会です。どうか皆さんお誘い合わせの上、ご参加ください。

PH STUDIO、ドキュメンタリー映画上映会

# 船、山にのぼる + 灰塚神楽団公演

## ■ 灰塚神楽団公演 + 映画上映会

場所 BankART 1929 Yokohama IF/1929ホール

日時 2008年6月14日(土)

映画上映 17:00~18:28(会場16:30)

お神楽 18:30~19:10

交流会 19:20~20:00

参加費 2,000円(映画をご覧にならない方は1,000円)

お申し込み・お問い合わせ: BankART1929オフィス

TEL: 045-663-2812 FAX: 045-663-2813

info@bankart1929.com

<http://www.bankart1929.com>

## 灰塚神楽団

灰塚神楽団は、近郷に伝わる「三谿神楽」を伝承する目的で15年前に設立されました。「三谿」というのは、江の川流域のうち、上下川・馬洗川・美波羅川の3つの流域(谿)という意味で、江の川を遡って南東方向の一番上流の地域になります。

江の川流域住民になじみの神楽の源流は2つあり、1つは島根県西部の石見神楽、もう1つは島根県出雲地方の出雲神楽です。豪華な衣装、躍動感にあふれた見栄えのする神楽が石見系で、神官職の衣装で清々と厳かに舞うのが出雲系です。

灰塚神楽団の「三谿神楽」は、この2系列の要素をあわせ持った神楽です。特色は、多くの場面で和歌に節をつけて歌うこと(「言い立て」という)、言い回しや観客とのやりとりが自由に行えること、タタミ2畳の広さで舞うこと、囃子は大太鼓、笛、手拍子を舞子が交代ですることなどです。

灰塚神楽団は、秋の収穫時期には、地元・近郷の村祭りに舞いますが、小回りがきくので、家の新築や結婚の祝い、地域の小祭りなどに呼ばれて舞うこともあります。

「船、山にのぼる」 <http://www.fune-yama.com/>

2007年 / DV / 88分製作: ビジュアル・トラックス、戸山創作所 / 監督: 本田孝義 / 撮影: 本田孝義、林憲志、濱子正 / 編集: 本田孝義 / 音響構成: 米山靖 / 音楽: 風の楽団 / ナレーター: 川野誠一 / プロデューサー: 伏屋博雄 支援: 文化庁 配給: 戸山創作所 出演: PHスタジオ、灰塚の人々、他

